

授業と評価の年間計画

教科	国語	科目	言語文化
履修条件 対象生徒	必修 普通科・理数科 1年		
学習目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにし、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
学習方法	<p>【授業】 様々な文章を読んで、ものの見方・考え方に触れ、的確に理解する力を養おう。また、友達と意見を交換することで、表現力や伝え合う力を高めよう。ノートやプリントには必要なこと以外に、自分が重要だと思ったこと、自分が調べたこともまとめておこう。</p> <p>【家庭】 古典の予習は、教科書を読み、まずはノートに文章を書き写すことから始まる。知らない言葉は辞書で調べておこう。疑問をもって授業に臨み、日々の積み重ねによって実力をつけよう。</p> <p>【補習・その他】 応用力を養うために、教科書以外に問題集が課題となる。大学入試に対応できるように、1年次から読解力・表現力が身に付くよう努めよう。また、「朝の読書」の時間を利用して、多くの文章に触れて欲しい。読解力は、すべての教科の基礎・基本となる。</p>		
学習計画 と ねらい	<p>1 1学期</p> <p>(1) 説話</p> <p>(2) 漢文入門</p> <p>(3) 随筆</p> <p>(4) 故事</p> <p>2 2学期</p> <p>(1) 近代小説</p> <p>(2) 歌物語</p> <p>(3) 史伝</p> <p>(4) 現代小説</p> <p>3 3学期</p> <p>(1) 随筆</p> <p>(2) 漢詩</p> <p>(3) 近代小説</p> <p>(4) 日記文学</p> <p>(5) 思想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いや古語に慣れ、古典文法を身に付け、古文を味わう。 ・訓読のきまりを理解し、古代の人々のものの見方や考え方が現代に通じるものであることを知る。 ・古典の世界とリンクした名作に触れ、時代背景や登場人物の心情を読み取る。 ・中国の歴史書の特質である文学性を読み味わう。 ・古典文法を用いて、筆者の視点、ものの見方や考え方を理解する。 ・古典の世界とリンクした文学作品に触れ、主人公の心情を理解する。 ・中国の代表的思想の概略を知り、現代においてどういう意味をもっているか考える。 	
評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	論理的に考える力や深く共感する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会と関わろうとしている。
評価方法	定期考査、授業への取組、課題・提出物、小テストなどを3つの観点に基づき総合的に判断して評価する。		
その他			